



与謝野町

第16号

平成22年4月23日

議会だより



主な記事

ここが聞きたい（一般質問）	2 P
国へ意見書	10 P

表紙写真を募集します

町内でのイベントの様子や、日々の町の様子など、あなたの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか？

●応募方法 撮影した写真データを電子メールでお送りください。 ●応募先 gikai@town.yosano.lg.jp

【質問議員と内容】

地域バスを京丹後市と同運賃に 有吉 正	ごみ処理問題についての考えは 家城 功
産業の軸施策はどこを目指すのか 多田 正成	経済力の立直しに町は人材育成を 小林 庸夫
低所得者に介護の保障を 畠山 伸枝	誰もが受けられる医療に 野村 生八
就学援助基準の見直しで拡充を 伊藤 幸男	下水で議員・職員未接続があるが 廣野 安樹
救急医療情報キットの配布を 浪江 郁雄	リフレ閉鎖の経験をどう生かすのか 谷口 忠弘
リフレかやの里の事業再開の決断を 糸井 満雄	3町合併による成果 赤松 孝一
今後の防災・減災対策の考えを伺う 上山 光正	「リフレ」ゾーンの活性化を 今田 博文
豆っこ米のブランド強化に新技術を 勢旗 毅	グラウンドゴルフ場建設で観光産業 井田 義之

3月定例会は16人が質問した

ここが聞きたい

◎ 地域バスを京丹後市と同運賃に

▲ 現在、宮津市・伊根町と共同で研究中



有吉 正

問 京丹後市は、丹海バスと共同実証運行している1路線内・運賃上限2000円のバスを本運行することを決めた。利用者増で、運賃収入も増加し、市が会社に払う補助金も、年間1100万円減少している。与謝野町もはやく近隣市町と協議すべきでは。

町長 国・府・会社の理解も必要。宮津・与謝地域内の移動の活性化により、購買活動の増加、自家用車による送迎の減少など、他分野への影響も含め検討している。

問 有害獣対策 有害獣対策は全国的課題であり、高知県のある町では職員に狩猟免

町長 許の取得を推奨している。1当町もできないか。2処理手数料の増額。3処理手数料の通年化。4里山の再生。5狩猟税の減額。

町長 1強制はできない。2当面、現行のままで。

問 リフレかやの里の再開 温泉を活用した議員の提案の具現化は。

町長 当初予算に調査委託料を計上している。



活かせ地域バス

Q 産業の主軸施策はどこを目指すのか

A 織物文化の発信を掲げ観光との連携を掲げる



多田 正成



残れ若者・よさのまち

問 産業の主軸施策はどこを目指すのか、又業界とどのような取り組みをされたのか。

町長 活性化の鍵は織物業にある。業界の皆さんと十分な議論が必要。京丹後市、丹工と連携し販路開拓の支援の場を東京ビックサイトに設けた。

問 少子高齢化のバランスはどの様に取られているのか。

町長 児童生徒医療の償還払を現物給付と一病院二百円で受診できる制度にした。高齢者対策は、安心して暮らして頂くために福祉空間、安心プランを策定し、子育て事業から障害者、高齢者施策を限られた予算の中でバランスを取

り運営する。

問 町民公募債の導入で独自施策ができないか。

町長 有益な手法だが、先進事例は一部の資産家のみにとどまる傾向があり、低金利の縁故債を活用すべきと結論つけた。

問 疲弊する経済、今新要だがどの様に取組まれているのか。

町長 基本的には商工会を通じて情報交換をしている。町が直接行う事より商工会、企業、町とのネットワークによる情報共有が重要と考える。

Q 低所得者に介護の保障を

A 利用しやすく整備してきた



畠山 伸枝



給食センター

問 「保険あつて介護なし」の状態は10年たつて深刻化している。特に国民年金で暮らしている人にとって、介護が必要になつても受けられない現状がある。

また、来年度からは後期高齢者医療の保険料があがる。低所得の人は、無料で必要な介護を受けられるようにするべきではないか。独自減免をすすめる自治体は増えているの

で、将来的には視野にいれて考えてほしい。

町長 町としては、利用しやすく整備してきた。利用料金1割のところ、軽減をする制度もある。独自減免は難しいが国の制度の中でできるように、言っていきたい。

橋立中学校の給食実施を
問 学校再編とか統廃合は、あまり問題にならないのではないか。

センター方式なら人数が変わるだけ。問題はいつ始めるかだけでは、
教育長 受け入れは可能であり、実施にむけて研究している。宮津市から総合的に考えている最中と聞いている。

調整ができればすぐに始めるための研究はしている。

Q 就学援助基準の見直しで拡充を

A 認定基準は、実情に合わせて

問 「百年に一度」の危機的な不況で、多くの町民は厳しい暮らしを強いられ、しかも国の地方交付税削減と社会保障切り捨て政策で、傷跡が広がっている。特に低所得層は生活の維持すらできない状況だ。①就学援助制度の見直し拡充を。②保育料の引き下げを。

いという住民意識が育っている。②今でも国基準よりも低くし、また均等割世帯は減額している。③検討している。④当町では福祉空間整備事業などで、間接的な在宅支援を行なっている。⑤小集落の「集える場」は行政が作るものではない。⑥地域協議会は区との二重構造となる。区での協働のまちづくりを進めたい。

町長

①認定は数値基準でなく、申請者の実情を把握して

▼少子高齢化と過疎化が進む中で、現在と将来に大きな不安も抱えている。暮らしと地域を良くした



伊藤 幸男



未来に向かって

Q 救急医療情報キットの配布を

A 有効な手段だが、先進事例を調査研究したい



浪江 郁雄



救急医療情報キット

問 その形や機能から、「命のバトン」、「命のカプセル」と言われる救急医療情報キットは、直径6cm、高さ22cmの円筒形の容器で、中には、氏名や血液型、緊急連絡先、かかりつけ医、服用薬などを記入したカードと、健康保険証、診察券などの写しを入れて冷蔵庫に保管する。万一の緊急時に駆けつけた救急隊員が台所に行き、冷蔵庫にあるカプセルを見つけたら、処置に必要な情報を得ることが出来る。病院との連携がスムーズになり、医療事故も防止できる。

町長

基本的には、地域の中でこれらの人を支えていく取り組みを進める。

エコポイントで商品券

与謝野町版住宅工コポイント制度を創設し、ポイント交換品に地域商品券を活用して、地球温暖化対策と地域経済の活性化を図る取り組みを。

町長

検討に値するが、国の制度の動向をみたり、商工会との協議が必要だ。

また、大きな災害では、その人の状態がより詳しく

Q リフレかやの里の事業再開の決断を

A 地域活性化のため再開を目指したい



糸井 満雄

問 「リフレかやの里」は、一日も早い再開への決断が待たれるが、事業再開の考えと施設管理運営の基本的なスタンスは。

町長 基本的なスタンスは、地域の活性化に活かしていくために、再開を目指したいと考えている。

リフレかやの里全体の施設運営は、色んな選択肢の中から検討し、早いうちに方向性を示したい。
町長 議員10人で構成する政策研究会が「再生活の提言書」にて事業再開の提案をしたが、その受け止め方と対応は。
町長 提案を真摯に受け止め、専門家の意見を聞くなど、一定の調査検討を進めながら、町



リフレの早期再開を

にとって最も効果的で合理的な方法を検討したい。

都市計画の方向付けは

秩序あるまちづくりに重要な役割をもつ都市計画は、どのような方向付けがされ、検討されているのか。

町長 都市計画区域再編の必要性について検討した結果、まちの均衡ある発展を実現するために、土地利用に関する一定のルールづくりが必要との観点から、「準都市計画制度を利用する」との結論で、国の法改正の動向を見定め検討を進める。

Q 今後の防災・減災対策の考えを伺う

A 災害に強い町づくりを

問 数年前まで、自治消防隊員が主で、消防栓の点検と放水、防災訓練に参加したため一般参加者の関心度が低かった。

減災対策部の任務は、自治消防隊が有事に出勤後の各隣組家族の安否・被害状況の確認後、通報活動・負傷者及び体力弱者・子ども（乳児も含む）などを避難本部、支部への誘導活動を行う。

避難所では、介助、介護、負傷者への応急手当

数年前まで、自治消防隊員が主で、消防栓の点検と放水、防災訓練に参加したため一般参加者の関心度が低かった。

減災対策部の任務は、自治消防隊が有事に出勤後の各隣組家族の安否・被害状況の確認後、通報活動・負傷者及び体力弱者・子ども（乳児も含む）などを避難本部、支部への誘導活動を行う。

避難所では、介助、介護、負傷者への応急手当

全に被害を食い止めることは難しい。
いかに被害を最小限にし、限られた財源を集中させるかという考え方。
一方、防災対策は、減災対策も含めハード面や、災害弱者と言われる住民を円滑に避難させるなど総合的な見地から見て、災害に強い町づくりの構築を考えている。



上山 光正



高めよう防災意識

Q 豆っこ米のブランド強化に新技術を

A 農業技術者会でも検討



勢簀 毅

問

味コンクールで、丹後米コシヒカリは、3年連続

で最高の評価がされた。豆っこ米も町の応援もあってブランド化した。まだ知名度は低く生産費に見合う米価とは乖離している。話題性もある人工衛星を使って植物の分光反射特性を利用するリモートセンシング技術等の導入は、

町長

新政権の戸別所得補償も始まり、生産費に見合う米価の研究は必要だ。技術者会でも高位平準化を目指す取り組みを進めている。

農地法改正への対応

新たに8つの業務が加わる等で体制強化は大きな課題。報酬アツ



豆っこ米の高位平準化をめざして

プも含めて検討が必要だ。また下限面積要件も中丹地区では10アールに引き下げられたが。

町長

農業委員会でも検討願っているが、極端に下げることへの抵抗感もあると聞いている。

有期契約の根拠は

臨時職員との有期契約が現在6カ月になっているが法的根拠と一般職員との勤務時間の差は理解できない。

副町長

勤務時間については共済等との関係もあるが、6カ月という契約については精査したい。

Q ごみ処理問題についての考えは

A 研究会で現在将来に向けての方向を協議中

問

ごみ問題については以前より何度も協議もされてきた。不燃

ごみも可燃ごみも処分できる容量や契約の期限等があり早期に次世代に向けての方向性が求められる中で、現在丹後2市2町の担当者等により研究会が発足され協議がなされている。

①状況は。

②町長の今後のごみ処理に対するお考えは。

町長

ごみ処理にかかるとても大事な方向性を示し取り組むべきと感じている。

①現在丹後2市2町の担当者や専門家も含め研究会を立ち上げ丹後地区のごみ処理を具現化し方向性を示すための協議を進めている最中である。

問

情報化再度周知強化を

町長

現在約70%の加入申し込みがある。ご理解をいただき加入いただけるよう努力したい。



功 城



FM告知 (防災無線)

Q 経済力の立直しに町は人材育成を

A 即戦力の方法は・・・議論の必要あり



小林 庸夫



人材育成のセミナー

問

以前実施された町づくりアンケートでは「自然環境は素晴らしいが働く場所がない」「新たな産業起こしへの支援と雇用の確保を望む」の項目が飛びぬけて高い数値がでている。

地域の経済力活性化に向けて指導力を発揮される人材育成に向けて関係分野への職員の出向は考えられないか。

また、有為なコーディネーターを町で確保するということができないか。
町長 どの業種に焦点を絞るのか複雑多様化してはいるが、町が主体でなく各種支援制度を設けて

問

いるので民間での活用によるスキルアップを望む。
平成17年の事業所数は1895と20%減。
2331が平成21年

地域活性化の基本は事業所の増加をどう実現するかに尽きるという。

町長

今ある企業に頑張ってもらえるよう力を入れたいことと地域活性化に向けて起業された方も応援したい。

やろうとする方の熱意、意識改革が町の職員も含めて大切といえる。
商工観光課にも情報がたくさんあるので活用されたい。

Q 誰もが受けられる医療に

A 不公平感なく安心安全に暮らせるように

問

お金で命に格差がつくられている。地域によって、助かる命が助からない。こういう命の格差は許されないことだ。

問

命にかかわる救急搬送、救急車の救急救命士が、命にかかわると判断した場合、すぐに治療ができる病院に、直接搬送することができないのか。

町長

要望していく。

問 救命救急センターを

与謝野町に、北部の「地域救命救急センター」を設置するよう、府に働きかけを。

町長

1人でも命を救えることが

問

重要で、公でも民間でも実現するよう、強力に要望していく。
医療格差をなくせ
医師は京都市内に偏っており、北部は少ない。どこに住んでも同じ医療が受けられるべきだ。

町長

国の新臨床制度は、医師不足を深刻にした。医療体制の崩壊につながる恐れがある。国や府に声を大にして訴えていく。



野村 生八



安心は救命医療の充実

◎ 下水で議員・職員未接続があるが

Ⓐ 心当りの方には接続願いたい



廣野 安樹



早期水洗化を

問

私は、議員を20年
間町民の皆様に変
お世話になり、又ご支
援を賜り本当にありが
とうございました。今回
の改選には出ませんが、
4年間の中で私が取り
組んできた課題の一つ
が下水道問題で、未だ
議員・職員の中に3年
経過をしていないの
に、未接続の方があ
ると伺うのが本当か。
私は今迄にも幾度とな
く、阿蘇海の汚濁の問
題で、下流の方が大変
苦慮されていることを
申し上げてきました。
条例・規約を守る立場
にある議員、職員は、
多額の投資を行っている
下水道事業、率先して

に取り組む立場にある。
3年経過後も未接続で
あるとするなら、理事
者は改造を命ずることが
できると条例にある。

今回改選される議員は、
条例・規約が守られた
方で議論がされることを
強く要望する。

町長

未供用区域の議員
4名、3年経過している
地域の議員は、14名で
改修工事のできている
議員は70%と職員は
79%。
心当りの議員には、是非
接続が願いたい。
今後とも、水洗化100%
を目指し努力する。

◎ リフレ閉鎖の経験をどう生かすのか

Ⓐ 事前に相談していききたい

問

指定管理料なしで、
経済活動のみで運営
経費を賄っている道の
駅、加悦ファーマーズ
イスなどの第3セクター
の現状は厳しいと推察
するが。

町長

経営状況は厳しい
しいものがあるが、
それぞれ頑張ってお
られる。

問

リフレかやの里の閉
鎖は残念であった。私
は、最悪の結果とな
った原因は、町の対応
の遅れがあったと思
うが。

町長

4月時点での指定
管理料の要請はな
かった。損失の補
てんはできない又
町の責任は出資の
範囲内と考えて
いる。

問

条例にも書いてあ
るように、町は毎
年決算書を見て、
事前に問題点を指摘
する立場ではない
のか又役員会に毎
回出席していても
感じなかったのか。

町長

重油の高騰による
補てんを

問

申し入れたが拒否
された。役員の方
は、無給で地域に
貢献され又地元
の方ばかりである
今後このような結
末は回避しなければ
いけないと思う
ので、事前に処理
プロセスを考
えるべきでは
ない。

町長

運営を任せて
いる会社が問題
の整理をされ、
その後相談が
あればして
いき



谷口 忠弘



第三セクターの再考を

Q 3町合併による成果

A 全町域で情報の提供可能



赤松 孝一



開花したサクラ

問 4年間を振り返り初代町長として築かれた礎とは何だったのか。

町長 本町の将来を見据えたとき今後の課題とは何か。与謝野町総合計画、行政改革大綱、町民憲章、観光振興ビジョンなどの策定により、中長期的な方向が定まった。

全町域での有線テレビによる行政情報や様々な情報の提供が可能になった。国の経済対策を活用して、経済効果としては28億円程度の景気対策を実施。さらに、コミュニ

ティバスひまわりの運行をすることができた。4月の選挙において町民皆様の判断を仰ぎたいと考えている。

問 持続可能なまちづくりとは。

町長 次代を担う若者層の定住と財政運営の安定の2点で持続可能なまちづくりであると考えている。

問 合併特例債の使途は。

町長 合併特例債発行限度額の全てを執行する考えはない。真に必要な事業を選択して使用していく。

Q 「リフレ」ゾーンの活性化を A 相乗効果を発揮させ有効に機能させたい。

問 観光産業の経済的、社会的、文化的効果は極めて大きいものがある。

町長 十分認識している。リフレかやの里ゾーンには、道の駅、江上文庫、SL広場などあるが、リフレが休業してから静まりさびれている。

町長 この地域は町の観光を語る上で最も重要なエリアになる。どのような事業展開を図っていくのか。周辺が連携できるような施策

問 策の推進とリフレの再開は必要になる。

町長 22年度に入ったら予算も付けた。国民文化祭までには再開する。

問 樹齢1200年のツバキを全国に発信するためツバキサミットの開催を与謝野町で。

町長 4年先までの開催地は決まっているが、今後に向けて十分議論し調整したい。

問 ツバキエリアの各施設を複数の課が所管している。一体管理が必要だ。

町長 今後機構改革のなかで検討していきたい。現時点では連携を十分に図っていく。



今田 博文



かやの里 (江上文庫)

Q グラウンドゴルフ場建設で観光産業

A 設計審査委員会で検討・一定の方向性を



井田 義之



都市機能用地（岩滝）

問

グラウンドゴルフ人
口は町内で、2千人
とも3千人とも云われ、町
外の大会に参加する方も
年々増えている。

町内に芝生のグラウンド
ゴルフ場を建設・大会等を
誘致し、クアハウス・一字
観等との面整備で観光産業
に繋げたい。

阿蘇シーサイドパークも
完成間近か。都市計画用地
の有効活用を望む。

町長

阿蘇シーサイド
パーク・岩滝海岸
線の完成予定が見えてくる
中で、過去に議員から、ま
たグラウンドゴルフ協会か
らの要望もあった。
できるだけ早い時期に設
計審査委員会にお世話にな
り方向性を見出したい。

野田川からの懸案事項
町道中央線の進展は。

町長

平成4年から事業
休止状態となり、
その後上山田の役員の方々
にお世話になったが、地権
者の理解が得られていない。
町道亀山〜中地線は。

町長

PLANTの動向
が決まらず何等進
展しない。

問

中岡第2分譲地の地
盤沈下による家屋損
傷、その後の話し合いは。

町長

平成8年に22区画
を分譲、盛土の8
区画が沈下、補償要望があ
り協議を重ねてきたが、合
併後の話し合いはしていない。

国へ意見書 2件

可決(賛成 12 / 反対 4)

永住外国人への地方参政権 付与に反対する意見書

(提出者) 小林 庸夫

永住権を持つ外国人に 憲法上問題があると言わ
れ、地方参政権に参加させる ざるを得ない。
議論がされてきた。日本 よって、国におかれて
国憲法では「国民固有の は、地方参政権付与に
権利である」と規定して する法律を制定すること
いる。永住外国人に対し、 のないよう要望する。
選挙権を付与することは

賛成討論

参政権付与は国家の危機

多田 正成

外国人の参政権付与と反対に對する賛成討論を行う。
基本的人權の中に精神的自由權など國家以前の權利も存在する。國家とは政治的運命共同体で参政權は國の構成員のみ保障される國民固有の權利で外国人には認められない。「憲法十五條一項の規定は權利の性質上日本國民のみをその對象とし、規定による權利の保障は我が國に在留する外国人には及ばない」としている。人類一人一人の尊嚴は大切にし尊重しなければならぬ。
しかし外国人参政権付与とは別の問題と考える。

夫婦別姓に向けての

民法改正に反対する意見書

(提出者) 井田 義之

法務省において選択性夫婦別姓制度を柱とする民法改正案の今国会提出が検討中と報道されている。

家族の絆が弱くなり家族制度・社会制度の崩壊につながる危険性がある。

親子別姓は親の自由によつて子供の心に大きな負担をかけることも危惧される。

国におかれては選択制夫婦別姓を認める法改正を行なわないよう強く要望する。

賛成討論

大切なのは家族の絆

赤松孝一

夫婦別姓は、個人の自由を尊重し、行き過ぎた個人主義は家族が疎遠になり、日々の生活に悪影響を及ぼす。

我が日本人は、お寺、神社という宗教観の中で、家族や親族という共同体を尊重することにより人格形成をしてきた。

父母の姓が違う、兄弟でも姓が違うというような選択可能な別姓案は、何の為に民法を変えようとしているのか理解に苦しむ。

反対討論

夫婦別姓は

真の男女平等の一步

畠山 伸枝

日本の民法は百年にわたつて夫婦同姓を義務付けてきた。

女性の地位向上の運動が高まる中、別姓選択の自由を認める国が相次いだ。世論調査でも賛成が反対を上回るようになった。

多様化した社会の中で、お互いの生き方を、認めあう機運も高まっている。選択制夫婦別姓制度の実現は、単に姓の問題、不利益を受けた人の人権を守るだけでない、真の男女平等の社会を築くための第一歩である。よつて、本意見書に反対をする。

反対討論

外国人の地方参政権は認めるべき

野村 生八

平成7年の最高裁判例で、地方参政権は憲法違反ではないとの判断がされたが、本意見書案では合憲との判例がされたと読める。

また、EU諸国やアメリカは、永住外国人の参政権を認めているが、していないと読める内容だ。憲法で、地方自治体は、国籍をもつ「国民」ではなく、住んでいる全ての人をさす「住民」を対象に仕事をするとなっている。だからこそ、全ての人から税を徴収し、サービスを提供している。よつて、本意見書案に反対する。



国会議事堂

こどもの森保育園の紹介

当園は、こどもを中心に捉え、こどもの発達に視点をあいた保育を、きめ細やかに行っています。

乳児室の他は、特にクラス毎の仕切りを設けずに、異年齢のこども同士が共に遊び生活していく中で、人と関わる力や協力する力を身に付け、自分の思いを出し、時には友達と喧嘩しながら相手の思いや痛みを分かり合える、そんな経験を大事にしています。

また、恵まれた自然の中で、こども時代にしかできない遊びを思い存分楽しみ、心の栄養をたっぷり蓄え、こどもの瞳はキラキラ輝いています。

今は、皆こま回しに夢中です。小さい子も大きい子をじっと観察し一生懸命こまにひもを巻き、えいっとチャレンジ！乳児組さんのこまが、思いがけず上手に回ってびっくりしたり。そんな驚きや発見をこども達と共感する毎日です。



行政改革推進委員会の様子

保有施設の指定管理による効率化、保幼小の統廃合問題、そして職員の必要規模実数への削減等をテーマとして、年間の努力目標を提示し、5力年の財政目標を作りしました。特に滞納の削減は喫緊の課題であります。年間4億の削減が必要であり、その結果は5年後に20億の財政調整基金を得ることが出来ます。

平成20年度から24年度の5年間の財政削減を続行し、明日のある与謝野町を建設されますことを期待します。町の課題は多く、少子高齢化社会に対応し、教育、福祉、そして安心安全な町づくりを進めたい。

平成18年7月に行政改革推進委員として委嘱を受け重責を担うこととなり、1カ年間に13回の会合を重ね、行革大綱を答申しました。行財政の改革は多義にわたり町財政の現状の分析に始まり、財政の建てなおしを進めるためには何が必要であり何が不必要かを判断し、『入るを量りて出ざるを制す』事が最大の課題であります。3町合併により重複する施設の統廃合、



与謝野町行政改革推進委員会
会長 伊達 善弘

ちよっと
ひとこと
行政改革推進委員として
4年間をふりかえり

編集後記
今期最後の議会でありとなりました。
改選のため、一般質問、意見書だけの記載となっております。
読者のみなさん、ご愛読ありがとうございました。
議会広報特別委員会